

長生苑ネットワーク

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
 本年も幸多き年でありました。心からお祈り申し上げます。
 平成三十年度介護報酬改定は、在宅復帰・在宅療養支援機能に関する評価で、老健が五段階に分類される衝撃的な改定でありました。
 当苑は『基本型』で船出しました。
 しっかりと地盤を固めて強化型へと舵取りをしていく所存です。
 そして、昨年より認知症カフェ『おれんじカフェかほす』をスタートさせており、回を重ねていくことが出ています。
 お陰様で、毎回参加される地域の方も増えつつあります。
 地域に密着した施設であることは、大きな使命です。
 また本年五月一日には、新たな年号に改元されることとなります。

『謹賀新年』



この節目に施設もステップアップして、ご利用者様が安心して、満足されるサービスの提供が出来る様に職員一同努力して参ります。
 今年の施設運営方針は『全員の自己啓発で、施設のレベルアップ。思いやりのサービスで目指そう強化型』です。
 ご利用者様への思いやりの介護を最重点として、目標を達成していきたいと思っております。
 皆さまのご指導ご鞭撻をお願いする次第です。
 今年もよろしくお願ひ申し上げます。
 事務長 宮田 潔



『万博公園にて』

『施設のおいしいメニュー』

平成三十一年元旦特別食
 ・鯛めし
 ・おせち料理（黒豆他）
 ・赤だし
 ・いちごみるくゼリー



『平成最後の元旦特別食です』

『入所・短期入所・通所 利用状況について』

ただいま入所・短期入所・通所の各サービスにおきましては、**速やかにご案内できる状態となっております！**
 通所リハビリテーション（デイケア）につきましては、**無料体験を受付中です。**
 その機会がございましたらぜひ以下の担当者まで、お気軽にお問い合わせ願ひます。
 長生苑ホームページにつきましても、ご参照願ひます。

入所・短期入所担当
 支援相談員 南地・久木野
 通所リハビリテーション（デイケア）担当 住岡・清水

編集後記 インフルエンザが各地で猛威を振るっているようです。寒暖差が激しく体調を崩しやすい時期でもあります。改めて健康管理に注意して日々を過ごしましょう。
 (M)

発行 医療法人西浦会
 介護老人保健施設 長生苑
 Tel 06・6908・7770

ホームページアドレス
<http://www.cyoseien.jp>

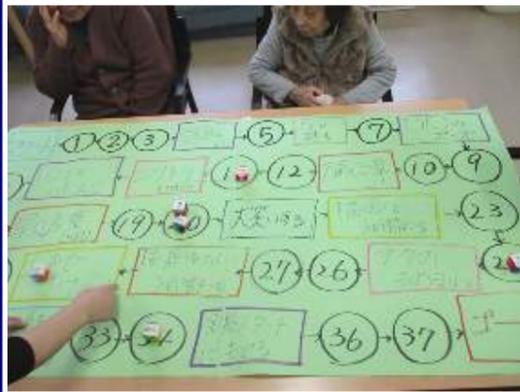
『クリスマス会開催』



十二月二十二日（土）クリスマス会を開催しました。事前にとんな内容にするか話し合いながら、ご入所者様に楽しんでいただけるよう、様々な案を出し合い準備を進めてきました。
 そしていよいよ当日です！朝からさわさわドキドキ。緊張しながら司会として挨拶し、様々に仮装した職員の方の姿を皆さんにお披露目です。
 またご入所者様も参加できるゲームを開催しました。まずは『ジェスチャー当てゲーム』でウォーミングアップしてから、定番の『二人羽織』へ。
 看護師の体を張った演技で、シュークリームやライオンを顔面でキャッチ！皆様の爆笑を誘いました。続いて事務長も大絶賛！の、介護職員が扮装した『おてもやん』！
 『ご自身で着付けした着物で軽やかに踊られ、皆様食い入るようにご覧になっていました。』



『見事な舞、おてもやん』



『手作りのすごろく盤です』

新年あけましておめでとございませう。平成最後のお正月、皆様いかが過ごされましたでしょうか？ テイクケアでは年始めのレクリエーションにて、お正月気分を味わって頂きたく思い、これまでに羽根つきや二人羽折り、カルタ取りなどを催してきました。今年はお馴染みの『すごろく』をさせて頂きました。ご利用者様二組にわかれ、職員手製のすごろく盤に向かい合い、いざスタート！



『みんなでワイワイ楽しみました』

意地悪なマス（全員スタートに戻る、一番最後と入れ替わる）、動物のものまねマスなどに止まるたびに『やったー！』『なんてやねん』と感情豊かに声を出し、盛り上がりながらワイワイとコマを進められました。そしてゴールされると満面の笑みで喜ばれ、お正月のひと時を楽しく過ごして頂けました。今年も皆様笑顔になれる行事や催しを企画して参りたいと思います。

テイケア 佐々木 一弘

『テイケア便り』

『職員投稿 - 富士登山』

新年あけましておめでとございませう。本年もよろしくお願い致します。昨年七月二十一日（土）、息子と二泊三日の富士登山に参りました。富士山には中学時代に修学旅行で五合目までバスで行ったことがありましたが、いつか山頂まで行きたいと思っていました。旅費よりも登山用具代の方が高くてしまいました。あこがれの富士登山のために、は仕方ありません。当日の夕方にまずは富士山五合目に到着。ガイドさんの説明を聞き、早速の登山開始です。すぐに日没となり真っ暗闇の中、坂道と溶岩の崖を両手両足で這いつくばりながら、三時間かけてやっと七合目まで到着しました。暗闇の中、登山道を進む登山者のライトが途切れることなく明るく続いていて、まるで蛍のように綺麗でした。山小屋に着くと、山の現実の



『富士山での御来光です』

厳しさに気が付きました。それは下界での生活と違い、気軽に飲める水がないことです。ペットボトル入りの水は五百mlで五百円、またトイレは一回使用ごとに二百円（山頂では三百円！）かかり驚愕しました。夜は狭い二段ベッドでしたが疲れて直ぐに寝てしまいました。また朝は早起きして御来光を見て、朝食を済ませた後、頂上へ登山を再開しました。暫くすると溶岩質から岩場の登山道に変わり、登山者でいっぱい！

気候もよく最高の登山日和で風過ぎには山頂に登頂し、お鉢巡りも体験できました。天気にも恵まれても楽しい、心に残る富士登山でした。

介護副主任 林園 博文

『おれんじカフェかぼす開催』

十二月十二日（水）、『おれんじカフェかぼす』では、巷で流行りのハーバリウムを作らせて頂きました。地域のボランティアの方のご協力を仰ぎ、制作方法を指導して頂きながら楽しい雰囲気の中で作る事ができました。出来あがったものは一つ一つ違いがあり、個性的で美しいものばかりでした。また、新年が明けて再度開催したカフェでは、アイン薬局の薬剤師の方にご来苑頂き、薬についてのお話をして頂きました。

私たちにとって薬はすごく身近なものではありませんが、専門的でもあるため深く知らずにいる物でもあります。また参加された方より、菓の飲み方についてなど質問がたくさんありましたが、全てにわかりやすくお答え頂きました。これらの『おれんじカフェかぼす』活動はボランティアの方々のご協力があるからこそ続けていけるものです。これからも引き続きご協力頂



『美しいハーバリウムができました』



『皆様作業に集中しています』

きながら、気兼ねなく参加できるような『おれんじカフェかぼす』を続けていけたらと思います。 介護支援専門員 友永 貴子

『リスクマネジャー養成講座参加』

平成三十年介護老人保健施設リスクマネジャー養成講座に参加しました。『リスクマネジャー』とは、老健施設を取り巻くリスクを包括的に把握し、事後対応だけでなく事前リスクも視野に入れ、現場の中心となってリスクマネジメントを行います。年一回（Ⅰ期・Ⅱ期）東京でのみ実施しており、前年度はリハビリ主任の瀬山が受講し、見事検定試験に合格致しました。そして二人目のリスクマネジャー候補として今回私が指名され、研修に参加させて頂いたこととなりました。研修初日にまず懇親会があり、全国から集まったグループのメンバーと親交を深めることが出来ました。そのおかげで、研修中のグループ討議では、和気あいあいと議論することが出来ました。Ⅰ期の受講は無事に終了しましたが、まもなくⅡ期（二月十三〜十五日）が始まります。また、夏には資格検定試験があります。



『収穫した芋をスイートポテトに』



『生活リハ（芋ほり）風景』

を目指して頑張っていきたいと思えます。 リハビリテーション副主任 理学療法士 田岡 雄輝